

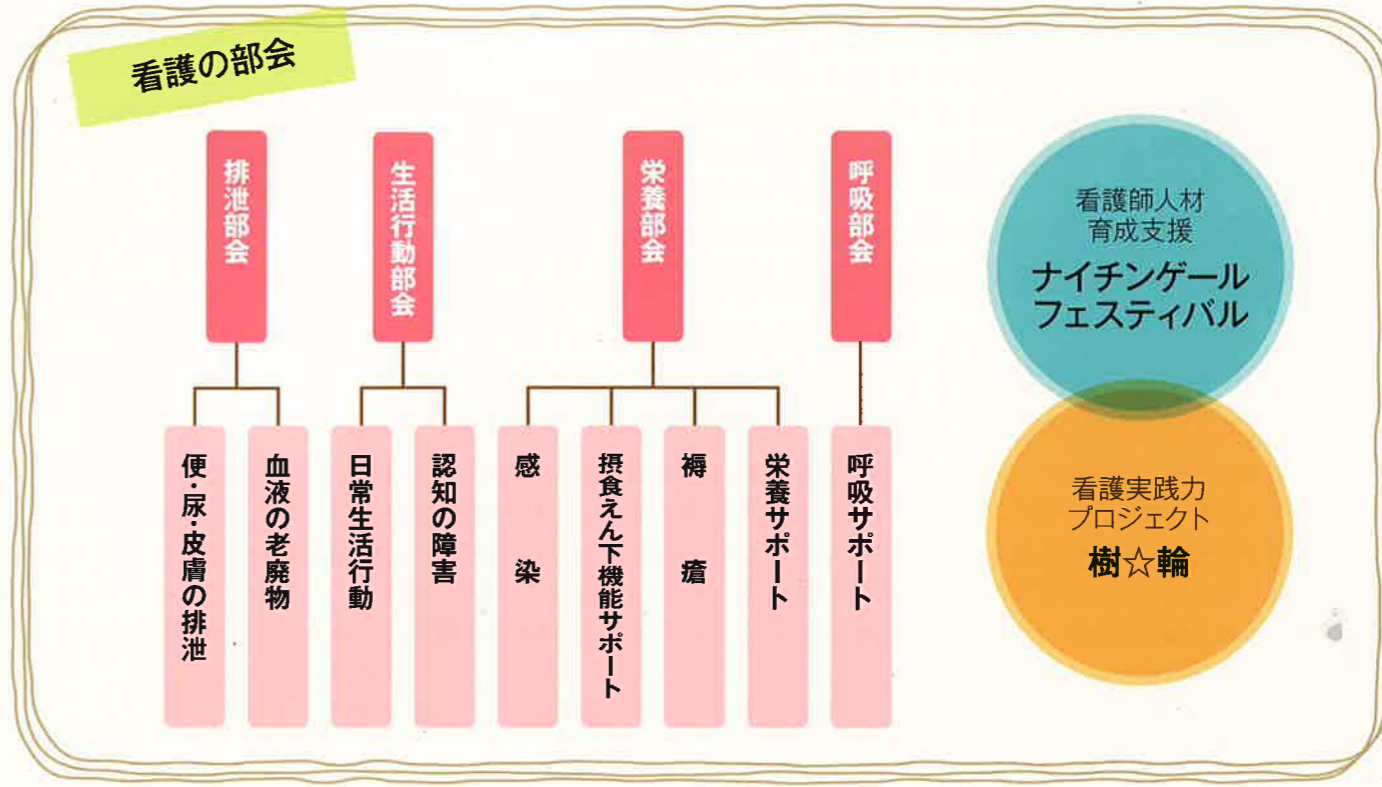
患者さんを輝かせるチーム医療

看護の部会

患者さんを4つの部会でサポート！

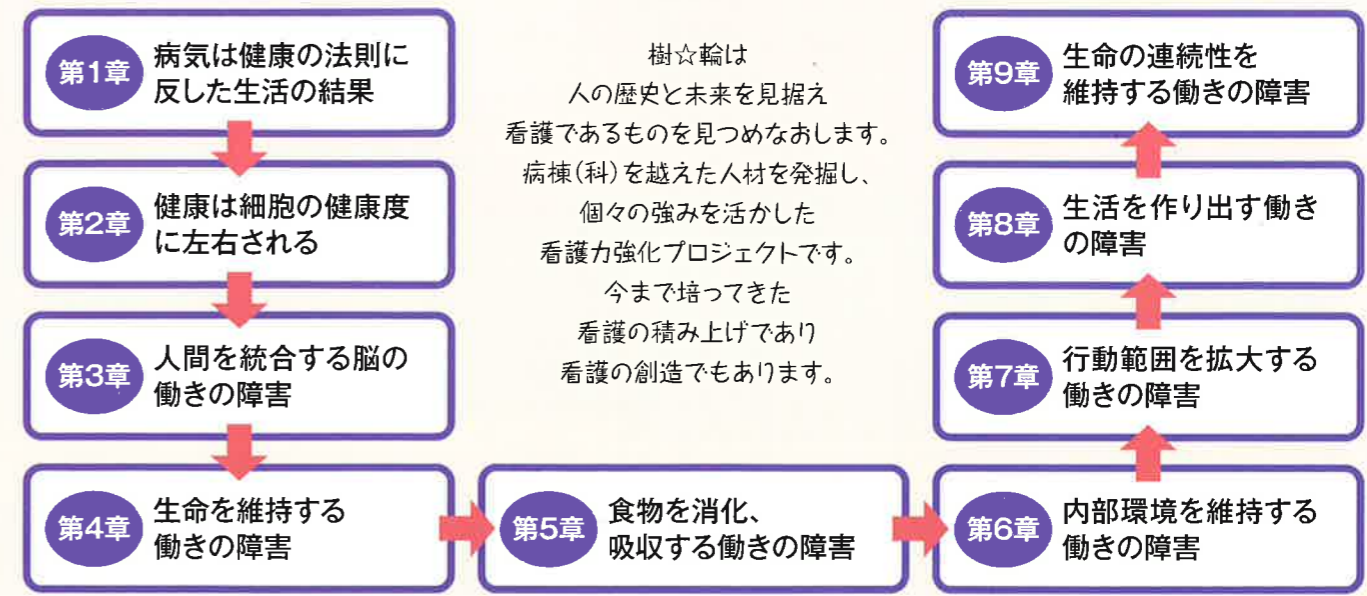
患者さんの「生きる」を支えるのに必要な医療の機能と情報を共有しチームで活動しています。ひとり一人の患者さんにマッチし洗練された質の高い医療の提供を目指します。

看護部では生活過程から患者さんの「生きる力」に注目し、チームで協働できるしくみ創りを行っています。「より良く生きる」に必要な4つの看護的視点は生活に欠かせない【栄養】【呼吸】【行動】【排泄】であり、これら生活過程を整え生命力を高める働きかけこそが看護の役割です。



樹☆輪(きらりん)は、生活過程を整え生命力を高めるための看護実践力をつける看護プロジェクトです。樹☆輪(きらりん)とは看護師の成長が樹木の年輪のように毎年必ず刻まれていくことと、一人ひとりがキラリと輝いて欲しいことを願い「樹輪」の間に「☆」を入れ「きらりん」と命名されました。

以下に記載してある章を担当しながら看護を整えています。当初は聴きなれない言葉に照れくささを感じることもありましたが、今では「樹☆輪 ○○章です」と抵抗なく呼ばれるようになっています。



栄養部会



西4病棟 竹岡 雅美

「栄養」…感染、褥瘡、栄養、摂食嚥下人は自らの体を良くし、生きようとする力「自然治癒力」を持っています。患者さんがこの力を最大限に発揮できる状態に整えることで、治療が最大限の効力を発揮する、これが「看護」です。治るための栄養、生きるための栄養を4つの切り口から、展開していきます。

排泄部会



外来 安部 弘美

先日、「生活過程を整える」ことについて話し合う機会がありました。人間の排泄機能と排泄行動を通して、整っていないのはどこか、整えるためにはどのように支えていったら良いかを考え、臨床の看護実践に活かしていくことを目的としています。生活行動部会とも関係が深い部会ですので、連携を取りながら活動していきます。

呼吸部会



南3病棟 中島 淳子

呼吸は「息をする」ということだけではなく、細胞レベルでのガス交換も含んだすべての呼吸を整え、その人らしい生活が送れるよう観察・ケアしていく必要があります。患者さんの状態観察はもちろんのこと生活背景を考え、時には酸素消費を抑えたケアや合併症予防、早期リハビリ・離床を行い早期回復の手助けが出来るような技術・知識を身につけ、質の高いケアが行えるよう取り組んでいけることを目的としています。

生活行動部会



南2病棟 妹尾 梨沙

私たち生活行動部会では、患者さんが病気や障害により、損なわれた日常生活に必要な動作を早期から回復できることを目標にしています。生活行動を整える援助が行えるように関わっていくことが出来る看護師を目指し、知識や技術を勉強しています。